



「富士山百景」初秋富士

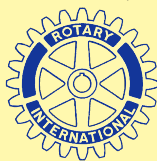
VOL. 2591

Rotary International

「善意を育み、奉仕の実践を」

第2591回例会 2017.10.4

ソング「それでこそロータリー」



富士ロータリークラブ WEEKLY

<http://fuji-rc.com/>

例会日:毎週水曜日 12:30
 例会場:ホテルグランド富士
 TEL(0545)61-0360
 事務所:〒416-0913 富士市平垣本町8-1
 ホテルグランド富士内
 会長:滝 克芳
 副会長:植田 眞晴
 幹事:石井 誠
 副幹事:佐藤 昌久

会長挨拶

滝 克芳



先週は千葉、神奈川で大雨により大変な被害がでたのですが、この地域は台風や雨による被害もなく、無事災害シーズンを終わりそうです。

さて、当社でも情報通信、ネットの活用が仕事の上で重要な分野になってきていますが、今後センサーや人工知能(AI)の発達でますますその役割が拡大して行きます。当初の情報通信機器から、家電や自動車などあらゆる分野で活躍して行くと思われま

す。そういえばロボットも汎用化され、販売されるようになってきました。手塚治虫の漫画の世界が現実化しているような感があります。

医療分野でも、ウェアラブル端末で集めた健康データを使い医療サービスを行うとのことです。

ロータリーでもペーパーレスの推進、メールでの対応を当たり前にするようになってきました。各クラブ内でも、デジタルバйдの様相を呈してきています。

個人的には、とりあえず仕事柄なんでも対応はしておりますが、アナログ大好きな私としては、時代について行くことができず、一抹の寂しさを感じております。

幹事報告

石井 誠

- ・第2591回の幹事報告をします。
- ・本日の卓話は瀬尾会員による「ポリオについて」です。

- ・今月の20日(金)「エンドポリオ」街頭募金活動を行います。当日は富士駅北口に15時30分に集合しパネルの設置やポケットティッシュのチラシ入れ等々行いますのでご協力宜しくお願いします。募金活動は16時～18時の2時間です。

親睦委員会

岸本 泰次

- 会員誕生日 瀧 真砂人 S33.10.8
- 結婚記念日 藤尾 肇 S59.10.6
- 石橋 広明 H27.10.10

☆私のスマイル

- 瀬尾 究君 本日の卓話させていただきます。よろしくお祈りします。
- 宮下正雄君 ポリオ撲滅運動といいますが、ポリオって何なの？ その恐ろしさを今日は瀬尾先生教えて下さい。
- 井出清章君 先日東京六大学ゴルフ対抗戦がありました。当クラブより等さん、植田さん、塩谷さん4名が出席し、76名の参加。盛大でした。植田さんの法政大学が優勝しました。
- 植田眞晴君 当社の雑貨販売コーナーが、本日オープンしました。会員の皆様には、お安くしますヨ！

出席報告

岸本 泰次

2591回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
32名	32名	4名	28名	87.5%

2589回 9/20確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
32名	32名	5名	27名	84.3%

例会プログラム予告

- 10月25日 卓話
- 11月1日 卓話

会員卓話

瀬尾小児科内科医院
院長 瀬尾 究 君



「ポリオについて」



ポリオは、ピコルナウイルス科腸内ウイルス属ポリオウイルスの感染にて発病します。
(I型～II型)

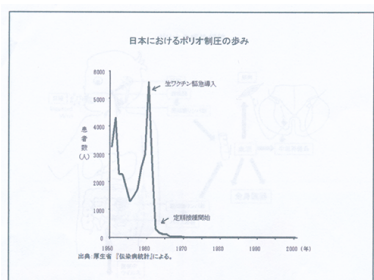
□歴史と疫学



古代エジプト王第18王朝(紀元前1403～1365年)の石碑像に片足が麻痺したポリオらしき人物が描かれています。
日本では北海道洞爺湖町入江貝塚から発掘された約4000年前縄文文化時代の女性の人骨に見られている。ポリオは考古学的に少ないが4000年前頃にはすでに人類に存在していました。

医学的記載は1840年Heineが初めて19世紀後半から20世紀前半にかけてヨーロッパ、米国で大流行を起すようになった。第二次世界大戦後には世界で流行しました。

□日本におけるポリオ制圧の歩み

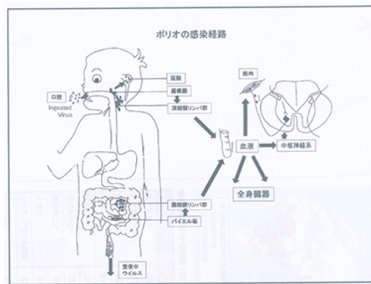


日本におけるポリオは、明治の後期から流行がみられる様になり1910年代1920年代1930年代後半～1940年代後半と10年おきに起きていた。1951年には4233人1960年5000人以上の発生の大流行があった。

そのため1961年にアメリカ製不活化ソークワクチン、ソ連からセービン生ワクチンを緊急輸入し130万人の小児に一齐投与により、1960年をピークとして流行は終息にむかった。日本からは野生ポリオウイルスの感染はなくなり世界に先駆け根絶を実現しました。

□ポリオの感染経路

汚染された食物、水、糞便にて経口的に伝播する。経口投与されたポリオウイルスは口蓋扁桃において、数日間増殖し、リンパ節を介して血液中に入り全身の臓器にウイルスは運ばれます。脊髄中枢神経に達し脊髄前角



細胞、脳幹運動神経ニューロに感染してこれらを破壊することによって典型的なポリオ症状を生ずる。発症後1週間を経過すると咽頭分泌液にはウイルスはほとんど排泄されなくなるが、糞便中には数週間にわたって排泄されるので感染源としての問題を生じる。

□ポリオウイルスの主な症状

急性灰白髄炎(小児まひ)(Poliomyelitis)

ポリオウイルス(1型、2型、3型)

不顕性感染型(90～95%)：無症状

不全型(5%)：軽度の発熱、不快感、頭痛、眠気、咽頭痛等
髄膜炎型(1～2%)：不全型のうち発熱、嘔気・嘔吐、項部硬直、四肢痛を伴う者

麻痺型：腸内で増殖したウイルスが血行性あるいは神経軸索を介し脊髄まで到達すると、脊髄前角運動神経細胞が障害され、神経細胞の支配する筋肉に麻痺が生ずる。多くは足又は手の左右非対称の弛緩性麻痺が生じ、後遺症として運動障害が残る。延髄の呼吸中枢が障害されると、呼吸麻痺により死亡する場合もある。

【治療】 特異的治療法はありません。不全型および髄膜炎型の場合は対症療法のみで完治します。麻痺型は症状により治療方針を決める。

(1)球麻痺を伴ったとき致死率：5%、後遺症：10%

発語困難、嚥下困難などの呼吸器不全、循環器障害、四肢麻痺に対するの対症治療法。

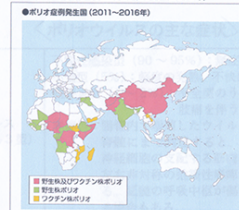
(2)下肢麻痺 疼痛、早期リハビリテーション

【予後】 不全型ポリオ患者は完全に回復します。無菌性髄膜炎のみ場合は2日から10日間くらいで回復します。脊髄ポリオの場合ウイルスの影響を受けた神経細胞が破壊されると、麻痺は永続的となります。一方神経細胞が破壊されず、一時的に機能不全に陥った場合は4から6週間で回復する。4分の1が軽度障害、残りの4分の1は重度障害が残るが死に至ることは少ない。呼吸補助が無い呼吸器症状を伴う場合は誤飲性肺炎。麻痺型ポリオ患者5～10%呼吸筋麻痺が原因で死に至る。致命率は年齢によってことなり小児が2～5%、成人15～30%である。

【予防】 ワクチン接種が有効

不活化ワクチン 経口生ワクチン

図1 世界でのポリオ発生状況(2011～2016年)



国名	11	12	13	14	15	16
パキスタン	198	58	93	306	54	20
アフガニスタン	80	37	14	28	20	13
ナイジェリア	62	122	53	6	0	4
中国	21	0	0	0	0	0
ソマリア	0	0	194	5	0	0
カメルーン	0	0	4	5	0	0
赤道ギニア	0	0	0	5	0	0
イタリ	0	0	0	2	0	0
ソマリア	0	0	35	1	0	0
エチオピア	0	0	9	1	0	0
ケニア	1	0	14	0	0	0



平成29年(2017)8月

ポリオ野生種常在国：

アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3ヶ国。

WHOは2018年までにポリオを根絶させることを目標としています。

編集者 吉田 浩 之